TOKYO ASA-NET
足立朝日
足立の情報紙　THE ADACHI ASAHI　No.461

2025年5月5日(月)
毎月5日発行

発行所　足立朝日会
(編集室)〒120-0026
足立区千住旭町8-13
☎3881-1483 FAX3879-5342
E-mail：info@adachi-asahi.jp
https://www.adachi-asahi.jp/

この新聞は、足立区内で配達されている朝日新聞全紙と日経、東京、産経の一部に折り込んでお届けしています。
発行部数：85,000部

「千住宿」開宿400年祭

5月18日(日) 千住地域3会場でスタンプラリーも実施中

千住宿が開宿して400年を迎えた。今年は1年を通して千住が盛り上がる。そのオープニングイベントが東京商工会議所足立支部と足立成和信用金庫の主催で5月18日(日)に開催される。ステージやキッチンカーなど楽しい企画が盛りだくさん。

オープニングセレモニーは、北千住駅南口（仲町口）コンコースで午前10時から行われる。千住太鼓による和太鼓パフォーマンス、潤徳女子高校による浦安の舞、東京楽所による雅楽などが披露される。

午後1時～午後4時は、芸術センター前広場と東武ストア前広場の2会場で回遊イベントを実施。

潤徳女子高生徒による浦安の舞

芸術センター前広場では、剣舞会による演舞や東京電機大学生によるダンス、養老瀧乙丞による和装マジックなどのステージほか、喜田家が開宿400年を祝う焼印を押したどら焼き、薬膳が千住葱、ヤオシチが400年祭コーヒーなどを販売する。

東武ストア前広場では、剣舞会が手裏剣を使った忍者体験、紙ものラボが和紙を使ったワークショップ、㈱ブルーオーシャンスターズと㈱TSUYOM（日）の400年祭でもイベントポイントがもらえるので、ぜひ参加しよう。

喜田家の開宿400年のどら焼き

IHOがAiを使ったワークショップを開く。

特にAiを使ったワークショップでは「家康Aiに聞け」と題し、徳川家康に昔の千住宿はどうだったか？　家康は千住に何をしに来たの？などを質問することで家康Aiが答えてくれるユニークな企画。また、その場ですぐに歌を作れるAiを使って足立区愛のオリジナルソングを作ることもできる。

6月30日(月)までスマートフォンアプリ「furari」を使った千住"魅力"満喫スタンプラリーも実施中。対象の飲食店や店舗を利用したり、名所スポットを訪れることでポイントをもらえ、規定ポイントを貯めると抽選で豪華な景品がもらえる。5月18日(日)の400年祭でもイベントポイントがもらえるので、ぜひ参加しよう。

今後も5月25日(日)には千住本町商店街で「千住・人情芸術祭」、5月31日(土)は「足立の花火」、6月1日(日)は「宿場町通り商店街祭り」と、千住地域は11月の本祭までイベント目白押しで盛り上がる。

【問合せ】☎3882-3233準備委員会

Aiのワークショップを行うブルーオーシャンスターズの高塩博幸代表（中央）、由美夫妻とTSUYOMIHOの宮田剛志代表

（PR）

あだち散策

「汐入大橋の裏側」撮影した南さんから投稿

2月17日の朝、隅田川の川面に、千住汐入大橋の「裏側」がはっきりと映っていた。

普段は風がよく吹く場所で、いつも波が立っていたり、川の流れがあったり……。船が行き来している場所なので、これほど静かで穏やかで、橋の裏側まで映る川面を見るのは、12年ほど生活していて初めて。まるで鏡を見ているようで感動した。

川は毎日違う顔を見せてくれる。川も、橋も木々も、穏やかに素敵な景色を見せてくれるので、この場所がとても気に入っている。

【メモ】千住汐入大橋は、足立区千住曙町と荒川区

新学期のドタバタも一段落し、授業の合間にカメラを持ち出して荒川の河川敷を歩いてみた。せわしなく列車

「大きく泳ぐ時」

撮影／長谷部　結哉さん（20）
＝東京電機大学機械工学科2年

た時、ふとあるものが目に入った。鯉のぼりだ。風に乗り力強く空を泳ぐその姿はとても美しく、私も元気をもらいました。

しばらく撮影をしていると、鯉のぼりを下ろしに来た方がいた。その時ふと気付いた。子どもの頃に見た鯉の

ふしぎ駄菓子屋
中山優馬　柴田理恵　風間杜夫　白石加代子
犬原櫻子